

ほほえみクラブ

あけましておめでとうございます
本年もよろしくお願ひ申し上げます

A様の作品



ほほえみ

ギャラリー



O様の作品

『介護保険制度は有効に活用しましょう』

代表取締役 宮本和明

コロナ禍の中、石川県の感染者数もようやく落ち着いてきたと安心しておりましたが、今度はオミクロン株が発生。早く以前の日常が戻って来て欲しいと願うばかりです。

今、少子高齢化社会が進んでいます。高齢者の生活は地域で互いに支え合い助け合うことが大切です。これを『地域包括ケア』と言います。住み慣れた地域で医療や介護サービスを受け、地域の人と交流でき、生き甲斐のある生活を送るために、私たちも介護保険制度を通して皆様にサービスを提供させて頂いております。

2000年に介護保険制度がスタートして、高齢者を家族が支える仕組みから、社会が支える仕組みに変えることができました。しかし20年が経ち、時代とともに様々な問題が出てきました。

一つは「人手不足」です。支えを必要とする高齢者はまだまだ増えているのに、支える側の青年壮年層が減り続けている。介護だけではありません。エッセンシャルワーカー（＝生活の基本を支える労働者全般）が不足しています。そのために高齢者の外出を支援する公共交通機関が相次いで廃止され、タクシーの運転手もいない。高齢者が施設に入りたくても、ベッドはあるのに職員がいなくて入れない。では一人で暮らせるかといえば、支えてくれる人やヘルパーがいなくてそれもできない。

もう一つはお金の問題です。支払う若年中年層が減り続けているため介護保険料は上がる一方です。

このままでは人の面もお金の面もとても心配です。基本的な生活の中で、できることはご自身で、不安であったりできないところは介護サービスを利用する。お一人お一人が、この様な思いを持って自らの生活に取り組んでいただけなら、これからも介護保険制度は持続可能になっていくと思います。介護は人が提供するサービスです。その介護を支える人が減ってきている今、昔そうだったように、みんなで力を合わせ助け合っていかなければなりません。一日でも長く健康に生活していただける事を願いながら、私たちも少しでもお役に立てるよう頑張っ参ります。